

第3章

【「分かった」「できた」「もっとやってみよう」が生まれる終末の工夫】実践例

学びの成果を蓄積するために作成した「学びシート」を、「見通し」から「振り返り」まで活用していく取組

～嘉島町立嘉島東小学校（国語科）～

児童が、単元のゴールの姿、単元を通した学習課題、単元の学習活動を常に確認しながら、見通しをもって学ぶことができるようにするために「学びシート」を作成し、「振り返り」を記録することで、学びの成果が蓄積できるようにしている。

視点	記録する内容
わかった	授業で分かったことやできたことを記録する。
なるほど	自分の考えを広げたり深めたりする上で、参考になった友達の考えを記録する。
知りたい	学習を進める上で、新たに湧いた疑問や解決したいことを記録する。
いかしたい	授業で学んだことで、単元のゴールでの活動、他教科の学習、日常生活等に生かしたいことを記録する。

「学びシート」を活用することで、単元全体を見通して学習を進めることができます。

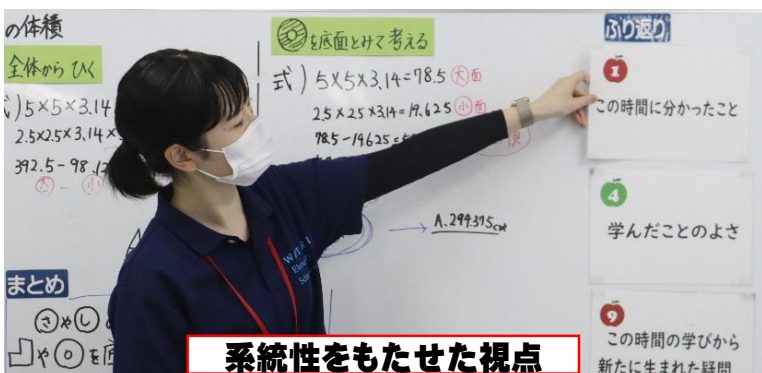
また、「振り返り」の視点として左記の4項目（わかった、なるほど、知りたい、いかしたい）を設定し、授業の内容等に応じて、教師が指示したり、児童が選択して振り返ったりするようにしています。4項目は「わなっし」と呼称してキャラクターを作成し、児童の「振り返り」の意識を高め、意欲的に活動できるようにしています。

第3章

【「分かった」「できた」「もっとやってみよう」が生まれる終末の工夫】実践例

家庭学習と次時の学習につなげる、教師の意図的な振り返り活動の取組
～球磨村立渡小学校～

授業において、本校で作成した「振り返りの視点」を活用し、教師が意図的に学習の振り返りの場を設けることで、児童が本時の「学び」を実感し、家庭学習や次時の学習に主体的に向かう意欲をもつことにつなげる取組を行っている。



系統性をもたせた視点

1・2年生 ふり返りのしるし	3・4年生 ふり返りのしるし	5・6年生 ふり返りの視点
<ul style="list-style-type: none"> ①分かったこと ②かんそう(じぶんの生活とかさねて) ③「いいな!」と思った 友だちの考え ④どうして? なぜ?(き間)と思ったこと ⑤今日の自学でやってみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ①分かったこと ②生活の中で使えること ③「いいな!」と思った友だちの考え ④どうして? なぜ?(き間)と思ったこと ⑤はじめの自分の考えと変わったこと ⑥次に学びたいこと ⑦今日の自学でやってみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ①この時間に分かったこと ②生活の中で使えること(どんな時?) ③自分が考えたこと ④学んだことのよさ ⑤はじめの自分の考えと変わったこと ⑥友達のことを聞いて ⑦次に学びたいこと ⑧この時間の学びから新たに生じた疑問 ⑨今日の自学でやってみよう

授業の終末の振り返り場面において、「振り返りの視点」を活用しています。教師が視点を1つに絞って提示したり、3つ程度の中から児童に選択させたりして、振り返り活動の充実を図っています。

視点に沿った振り返りを行うことで、児童は、その時間の学びだけでなく、新たな疑問や生活場面との結び付きなどを想起し、次時の学習への意欲や事象に対する更なる興味関心を抱きます。この学習意欲（知りたい、分かった）が家庭学習の質的向上にもつながっています。